JAPAN TRANSPORT SERVICE WORKER'S UNIONS
日本輸送サービス労働組合連合会
HOMEPAGE X
JTSU NEWS
2025,12,26
NO.056
QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です

羽越本線脱線事故から２０年
業務を捉え返し、社会的使命と役割を明確にしよう

写真:ウィキメディア・コモンズ より

2005年に山形県庄内町でJR羽越本線の特急列車が脱線し、乗客5人が死亡、33人が重軽傷を負った事故から12月25日で20年となりました。事故から20年が経過し、事故を知らない多くの組合員・ 若手社員がJR東日本やグループ会社に入社し、業務に従事しています。

2025年3月のダイヤ改正において、首都圏では常磐緩行線と南武線はワンマン運転(運転士の1人乗務)となり、中央快速線は、グリーン車が導入されて10両から12両となりました。また、要員不足で毎日のように休日出勤がある中、ジョブローテーション施策による強制配転や相互運用(兼務)等により、職務が複務化され、毎日目まぐるしく変化する職務に真剣に向き合っています。

そのような現状で、鉄道・バスを中心とした輸送サービスに携わる私たちは、事故を教訓に、「何を大切にするべきか」「何を守るべきか」をあらためて明確にすることが必要です。**遺族の方から「20年という歳月はたったが、心の中では『あの時から時間が止まっている』」という厳しい声が寄せられています。**

私たちJTSUは、 組合員と若手社員の皆さんと共に、私たちの業務を捉え返し、公共交通機関であるJR東日本会社の社会的使命と役割を明確にし、利用する乗客の皆さんが「私たちに何を求めているのか」を自覚しなければなりません。そして、期待と負託に応えられるJR東日本会社と職場をつくり上げるために、今こそ声を上げていきましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
JTSU は持続可能な開発目標（SDGs）を応援しています。